

## 奈良地方気象台長からのメッセージ

奈良地方気象台のホームページをご覧ください、ありがとうございます。  
このたび、奈良地方気象台長として着任しました 廣尾 進（ひろおすすむ）です。  
奈良では初めての勤務となります。

奈良地方気象台は、明治 30 年（1897 年）に前身となる奈良県立八木測候所（現在の橿原市）として設立され、奈良市への移転を経て奈良地方気象台に昇格しました。平成 29 年（2017 年）からは現在の場所である奈良市西紀寺町で業務を行っています。

奈良県は、紀伊半島中央の内陸部に位置し、山岳地帯を南部に持ち周囲を山に囲まれています。東西に流れる吉野川を境として、南部の山地では海上から流れ込む湿った空気により雨が多く、冬は厳しい冬山にもなります。

北部の奈良盆地は比較的雨が少なく、北東部の大和高原では冬は厳しい寒さとなります。豊かな自然に恵まれる一方で、台風の北上などに伴う大雨によって大和川周辺での水害や南部を中心に大規模な土砂災害も発生しています。

近年は地球温暖化の影響もあり、気温の上昇とともに大雨や大雪による災害が全国各地で発生し、今後もこれまでに経験したことのないような極端な現象の発生が想定されています。

自然災害の発生を抑えることはできませんが、防災意識を高め事前の備えをすることで被害を減らすことができます。

お住いの地域のハザードマップなどを再確認し、いざというときの対応をご家庭で話し合うなど前もって決めておいていただくようお願いします。

また、昨年 8 月には南海トラフ地震発生の相対的な高まりについてお知らせする「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。日ごろからの地震への備えや、大きな地震が起きたときはまずは自分の身を守る行動が重要です。

奈良地方気象台では、自然災害から命を守るために防災気象情報を適時的確に発表し、わかりやすい情報提供に努めるとともに、県や市町村、国などの関係機関、報道機関のみなさまにもご協力いただき、防災気象情報を正しく利活用いただけるよう取り組んでまいります。

地域の住民のみなさまの安心・安全を守るため、職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。



令和 7 年 4 月  
奈良地方気象台長 廣尾 進